



▲名前の「エドワルド」に「江戸」という漢字を当てて、自分用のハンコも作ったというエドワルド マラビージャス ガルシアさん

新しい言葉と文化には慣れていくのが大変ですが、それが面白いと思っています。

■日本に来られたきっかけは？

私はメキシコシティで生まれ育って、11歳から家族でアメリカのシカゴで暮らし始めました。そこで大学を出て働いていましたが、今から20年前に生まれ故郷のメキシコシティに戻って、語学学校で英語の講師をしたり、額縁を作る小さな会社で働いていました。日墨文化学院という学校に社会人向けの語学コースがあって、毎週月曜日から金曜日の朝7時半から9時までは、そこで日本語を勉強していました。そこで、日本語の講師をしていた妻の尚美と出会って結婚したのです。妻には任期があって、一度日本に帰国しなければならなかったのですが、そのとき一緒に来日して、日本で暮らし始めました。

大学では美術、特に版画を勉強していました。日本語を勉強しようと思ったのは、漢字に興味を持ったからです。日本に来ることになって、いろいろ勉強できると思いました。アメリカやメキシコの美術はヨーロッパから入ってきた美術の影響が大きいけれど、日本の美術は少ししか勉強していなかったのが興味がありました。

■日本に来て、ハンコに興味を持ったのですが、どんなところに惹かれたのですか？

メキシコで日本語の勉強をしていたときから、漢字が大好きだったのです。日本語は、はじめはすぐ一生懸命勉強して、ひらがなは2日ぐら

いで、カタカナも1週間ぐらいで覚えました。日本のハンコを見たとき、漢字の形がまるで絵のように見えて、面白いなと思いました。それで興味を持ったのです。実は、メキシコにはマヤ文字という古い文字があるのですが、日本語の漢字と同じように、意味を表す表意文字と音を表す表音文字の両方のはたらきを持っています。日本語も、例えば漢字の「山」は「やま」という音を表しながら、山の形をかたどっていますね。マヤ文字もそれと同じなので、漢字にはとても親しみを感じました。

■メキシコにも、古い歴史と文化があるのですね。

そうですね。メキシコには、オルメカ文明、サポテカ文明、マヤ文明、アステカ文明など、様々な時代や地域ごとに栄えた文明があり、それらの文化の精神みたいなものは、現在のメキシコにも引き継がれています。それを多くの人に知ってもらいたいために、ハンコやカードを作っています。メキシコシティに住んでいたころ、学校ではアステカ文明については習いましたが、メキシコ南部で栄えたマヤ文明のことは少ししか勉強しませんでした。でも大人になって、そうしたメキシコのいろいろな文化、文明に興味を持つようになって、マヤの暦や文字について、勉強するようになったのです。

■こういう知識がベースにあるから、日本の漢字にも興味を持たれたのですね。

日本にいても、インターネットでいろいろ調べられるし本もすぐ買えるから、日本に来てからの方が、いろいろ研究しています。知らない漢字を見ると、すごくうれしいですね。意味がわかると、あー、なるほどという感じがします。こんなふう文字に興味を持ったことから、ハンコを作ってみようと思い立ちました。

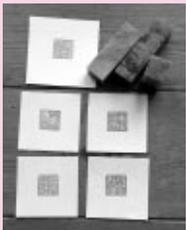
●プロフィール●

1963年メキシコ生まれ。11歳のとき家族とともにアメリカへ渡る。イリノイ大学の美術・建築コースを卒業後、シカゴにある美術スタジオで美術プロジェクトの企画、デザイン、施工に携わり、顧客の注文に応じてレストラン、ホテル、病院などの壁面装飾、彫刻、背景画などを制作。その後メキシコシティに戻り、語学学校で英語講師を務める。結婚を機に来日し、現在は近江八幡市で英会話の講師を務めるかたわら、マヤ文明・アステカ文明などメソアメリカ文明のデザインをモチーフにした作品を制作している。

■メキシコ、アメリカ、そして日本の3つの国を知っておられるわけですが、その中で一番暮らしやすいと感じておられるのはどこですか？

私はメキシコ国籍、妻は日本国籍です。子どもは3人で、15歳と12歳、9歳ですが、一番上の子はメキシコで生まれたのでメキシコ国籍と日本国籍です。

3つの国で暮らして、新しい言葉と文化には慣れていくのが大変ですが、それが面白いと思っています。メキシコは、家族の絆が強いですね。遠い親戚でも困っていると助けてあげたり、アメリカに出稼ぎに行き家族を養っている人も大勢います。人間関係でも、すごいケンカをしたり、お互い言いたいことを言い合っても、次の日には忘れてまた仲良くなれるところが気楽です。アメリカはとても便利だし、何でも出来る国だけど、あまり居心地は良くなかったです。日本は、生活が安定しているし、人もみんな穏やかですね。でも、怒っているとか、悲しいといった感情がいきいきしていないという感じがですね。そんな中でも、沖縄は気候や人柄、果物などがメキシコに似ていて、とても気に入っています。いつか家族みんなで、沖縄で暮らせたらなと思っています。



▲マヤ文字を使って作ったハンコ。マヤ文字は漢字と同様に、意味と音の両方を表している。



▲52年周期で、1日ごとに名前がつけられているというマヤ暦に基づいた誕生日の守護聖人を描いた版画カードも作成している(1枚500円)